



認定看護師が 11分野 16名になりました。

緩和ケア認定看護師 梶浦 やすえ
(2010年取得)



当院に認定看護師が登場してから今年で早12年目となりました。初年度は2名からのスタートでしたが、現在16名が所属しています。急性期から慢性期まで分野は多岐にわたります。それぞれの特徴を活かしつつ市民の皆様のご希望に応えられるよう尽力して参ります。

1997年、日本看護協会に認定看護師制度が発足し、それぞれの分野で熟練した知識・技術を習得した看護のスペシャリストとして医療の場に存在するようになり、現在では21分野、2万人を超える認定看護師が全国で活躍しています。当院でも昨年度に認知症看護認定看護師1名を加え、11分野16名で看護活動の場を支えることになりました。

*

さて、改めて認定看護師制度がどのようなものか紹介すると（看護協会ホームページより抜粋）、

特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて、あらゆる場で看護を必要とする対象に、水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的としています。

（認定看護師は特定の看護分野において、以下の3つの役割を果たします。）

1. 個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する。(実践)
2. 看護実践を通して看護職に対し指導を行う。(指導)
3. 看護職等に対しコンサルテーションを行う。(相談)

と、ありますように、入院または通院している患者・家族の皆様に見守りや看護ケアを自ら提供したり、研修会・勉強会を開催して院内スタッフの教育活動・人材育成に携わったり、スタッフから相談を受けて問題解決に協力することなどを日常的に行っています。また、活動の場は病院に留まらず、市民講座や生涯学習交流館での出前講座などで見知っている方たちもいらっしゃるのではないでしょうか。



*

分野別では、近年、感染爆発を起こしたコロナ禍での医療現場は、感染管理認定看護師の努力と苦勞なくしては成り立ちませんし、少子超高齢多死社会に直面している清水区では、認知症看護認定看護師の今後の活躍が大いに期待されることでしょう。

*

私たち認定看護師の実践的関わりは、当院に入院されたり通院されている患者・家族の皆様に限られることがほとんどです。病気に対する疑問や不安などありましたら、外来受付や病棟スタッフにお尋ねください。また、当院かかりつけでない方も地域の訪問看護師、ケアマネージャーとも連携していることも少なくありません。担当者を通していただければ直接伺うことができなくても、ご協力できることがあるかもしれません。一度ご利用になってはいかがでしょうか。各認定看護師からのお知らせは病院機関紙などを一読していただければと思います。今後とも当院認定看護師をよろしくお願いたします。

